生きる力を培う双葉台中教育プラン

学校・家庭・地域が共に育てる双葉台の子

水戸市立双葉台中学校

県の教育目標

「一人一人が輝く教育立県を目指して」
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
郷土を愛し協力し合う心を育てる

校訓

清く　さとく　たくましくあれ

教育目標

次代を拓く『生きる力』をそなえた人間の育成

○人間性を育み　○知性を磨き　○心身を鍛える

水戸市の教育目標

知性にとみ、心身ともに健全な風格をそなえた人間（水戸人）の育成につとめる

①まごころをつくす　④郷土を愛する
②知恵をみがく　⑤気概をもつ
③からだをきたえる　⑥気品をそなえる

目指す学校像

楽しく明るく活力のある学校

○ゆとりと潤いのある学校
○調和と落ち着きのある学校
○信頼と敬愛に満ちた学校
○創意と活力のある学校
○家庭や地域に開かれた学校

目指す生徒像

心身共に健康でたくましく、郷土を愛し社会のために尽くす生徒

○自ら学習に励み個性を伸ばす生徒　○自ら考えて行動できる生徒
○責任感が強い生徒　○思いやりのある生徒　○節度がある生徒

目指す教師像

教え合い、育て合う教員集団

○豊かな人間性をそなえた教師
○実践的指導力のある教師
○創意工夫をする教師
○協調協働をする教師
○高い見識を求め続ける教師

職員研修テーマ

「分かる」「できる」実感が味わえる学習指導の工夫

学校経営方針

○　知・徳・体の調和のとれた教育活動を通して、生徒のよさを認め、生かし、伸ばしながら、活気あふれる学校づくりを推進する。

1　教科指導法の改善と研究（基礎・基本の定着、学ぶ意欲の向上）
2　自他を尊重する心の育成（清掃・あいさつ・時刻の指導、規範意識の向上
3　健康教育（保健・安全・体力向上・食育）の推進と部活動の活性化
4　小中連携と開かれた学校づくり

人間性を育む

互いのよさを認め合う生徒の育成

○読書活動の推進
・朝の１５分間読書（週２日）
・年間３０冊読破生徒の表彰・良書の紹介
○登下校時のあいさつ運動
・学級毎（生徒会と父母と教師の会共催）
○自治活動の推進
・全員参加の委員会活動（３９８分の１の責任）
・実行委員会による運営（体育祭、萌葉祭、卒業式）
○道徳の授業の充実
・道徳研究部による校内研究授業
○人間関係能力の育成
・いじめ、友人関係に関するアンケート（年３回）
・生活の振り返り（学期１回）
・グループエンカウンターの実施

知性を磨く

自ら進んで学ぶ生徒の育成

○授業力向上を目指した職員研修
・教科部員会、相互授業参観
○基礎・基本の定着
・ミニテスト、毎時間５問プリント
○県学力診断のためのテスト結果の活用
・補充学習（２・３月）
○学習充実月間の設定（１０月）
・ノート展、作品展、学習相談
○計算力テスト
・全学年同一問題（１年生で学習する内容）
・８０点未満（補充学習、再テスト）
○進路支援
・希望者による学習相談（夏休み）
・放課後学習（１１月より）

心身を鍛える

健康な身体づくりの励む生徒の育成

○体力向上のための取り組み
・体育の授業開始時のサーキットトレーニング
○心と体を鍛える部活動の充実
・練習の工夫、練習試合、合同練習（冬季週２日）
・外部指導者の導入
○学校保健委員会の充実
・年３回　・治療勧告
○外部講師を招いた講演会の実施
・性教育、情報モラル、薬物乱用防止等
○自分の身は自分で守る意識の向上
・避難訓練（年３回）　・防災教育の充実
○教育相談の充実
・スクールカウンセラー、心の教室相談員との連携
・三者面談（夏休み）

家庭の役割

基本的な生活習慣の確立＝「早寝・早起き・朝ご飯」

・子供にとって居場所
・家庭学習に取り組む時間と環境の確保
・学校からの情報の積極的な入手と相談機会の活用

小中連携

・９年間の学び・育ちの保証
・小中の指導の系統性・一貫性の確保
・発達段階に応じた生活と学習の約束の確認

開かれた学校づくり

・学校評価（保護者・教職員・生徒・評議員・学校関係者評価員）
・地域活動への参加（住民の会、市民センター）
・保護者・地域への積極的な情報提供（青少年育成会と中学生の懇談）

生徒の安全を守る連携

・双葉台地区住民の会　・双葉台地区青少年育成会　・双葉台地区防犯協会　・安全安心地域づくり連絡協議会　・子供の安全を守る家　・双葉台駐在所